

西河技術経営塾研究科前期 講義録 SH10

作成：渋谷 加津美

**日時**：平成 29 年（2017 年） 11 月 29 日（水）午前 11 時 00 分 ～ 午後 12 時 00 分

**場所**：アーネスト育成財団内会議室（渋谷区代々木 1-57-2 ドルミ代々木 704 号）

**講師**：小平和一郎

**研究生**：渋谷加津美

**講義名**：(SH10) <sup>1</sup>「第 12 章 中期計画を作成する」(3)

**講義資料**：講師を担当する第 5 章の講義原稿案

## 講義内容

### 1. 概要

第 10 回目 (SH10) の講義 (研修) を行った。内容は、以下の通り。

第 12 章「中長期計画を作成する」－エンジニアリング・ブランド構築を戦略の要におく－の講義資料案(03)について講義担当分を決定した。

講義の前半 (17 頁分) 20 分を担当することとなった。

### 2. 研究内容

#### (1) 概要

経営は、常に 5 年先、10 年先どうするかである。未来を計画した上で、今日の経営はあるし、未来に向かって手を打つ結果として、経営が実行されている。過去を語ることはできて、未来を語ることは難しい。しかし、企業経営は先を見て計画をして、今日の経営に取り組むものである。これらを実行するための知識として、言語化、ドキュメント化が困難な暗黙知を経験的に獲得するために、学会活動などを積極的に活用することが望ましい。

#### (2) 中長期計画における戦略

計数目標を作り SOWT で分析し、その分析に従い戦略を立案しているケースがあった。この手順では、中長期計画にならない。これでは、どう実現するのかが不明であり、つまり、あいまいな経営戦略となってしまう。

係数計画と同時に経営戦略は語られ、みなに共有される必要がある。経営者の思いの入った戦略となり、その実現手段である戦術が実現可能かを SWOT など分析し、すぐにフィールドバックする手順に改めなくてはならない。

このように作り上げられた経営目標と戦略により、自ら行動し現状を分析し、課題・問題が何かを理解し、その課題克服することで成功に導くことができることを理解した。

#### (3) その他

戦略課題を導き出し、成功に導く方法論は、多くの著書で紹介されている。しっかり勉強すること。

### 3. 次回までの宿題

- ・第 12 章講義に向けて : 中長期事業計画書の講義内容を決定する。

### 4. 次回日程

(1) 次回日程 12 月 5 日 (火) 14 時 00 分～15 時 00 分

#### (2) 参考資料

研究の参考資料として、下記を選定した。

『イノベーションの法則性』柴田 友厚著

以上

<sup>1</sup> (注) SH01 : SH とは、Shibuya のこと。01 は、1 回目。第 3 回は、SH03 となる。